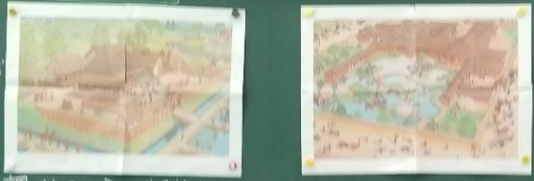


武士の世の中へ (授業の板書)

第1時 (学習問題作り)

④ 武士は、どのような人々だったのだろうか 『武士の世の中へ』

平安時代
貴族中心、ごう草、ゆうが
政治をしいた
国の治め方



子想
えらい人を守るボディガード
地位が低い
貴族に感謝されて地位向上
戦いが得意
字→自主的集まる
普通(農民)

調べたこと
やぶさめ 訓練(弓馬)
戦いにそなえている 武家づかい 武職
やくら(見張り) 武家づかい 武職
働く時間が少ない(貴族をゆる) 服装(戦いの時)
農業をしていた 武士も信頼
米だけではなく野菜も 武士も信頼
ほりて作る(やかたを)

貴族と比べると...
シブい 合理的な ぶい林


疑問は?
なぜ武士が力をもちまく? 戦いが何かやりたいこと? 政治をしい!!
ほととくかたろう
どうやって貴族をしのぐはがに
今までは貴族 武士が欲くなり 不満
など、上に武士は行たり

学習問題
この時代に登場した武士は、どのような政治をしたのだろうか
〈予想〉
・ 戦いで物事を解決 → 土地、権力、地位 (武士へ)
・ 外国(中国)に広がる 源氏と平氏 → 2つの武士団 ← 政治が2種類
・ 力による政治のスタート 役職のちがいは
幕府...土地に着目(場所)

調べたこと
① 平氏について(政治) ⑤ 解決
② 平氏と源氏の戦い
③ 幕府について(政治のくみ)
④ 中国(元)とのたたかい

第2時 (清盛の政治)

④ 平清盛は、どのようにして力を伸ばしていったのだろうか



平氏と源氏の争いの様子
戦いーはげしい
燃えている
出血している
つたい
↓ 平氏が勝つ

平清盛
力をもち
どんな風に?
子想
武力で(平治の乱)
相手を倒す(負いられない)
貴族を利用
藤原氏みたいに
政治をひとじめに!!

調べたこと
清盛(平氏)が力を伸ばしたのは
大政大臣
結果を残す
源氏を倒す
海をく
上級貴族
管へい経済
商業発展(豊かになる)
宋 中国(カカリ)


政治の実権を握る
藤原氏みた
長く続か(り)

天皇 貴族
利用しながら
のこる!!
平氏中心
政治
支配
つまり どのような政治?
・ 平氏一族のための政治
・ 平氏独占の政治
・ がんばったから 武士の世の中
平氏は、源氏との戦いで勝利して、天皇や貴族と結びつき、力を伸ばした。

第3時 (源平の戦い)

④ 源氏は、どのように平氏を倒したのだろうか


〈源氏と平氏の戦い〉



どんな戦い?
人数、けり馬 → はげしい
武器を使い、陣地
全国各地に広がる(地)
5年くらい
海におこむ
平氏が西におこられている

子想
いげ場をなす(西に)支配されてない東の人を味方にした
平氏の知らない間に仲間をやす
作戦を立てる
がけから、きゆう
平氏に不満をもつ人を集めた

平氏は西 伊豆へ
源氏は東



源頼朝 源義経

源氏と平氏の戦い
義経の活やく
平氏打倒(父を殺された) 源氏時代
一の谷の戦い
がけから山から
平氏は海にける
西におこむ
屋島の戦い
崖の中を船をこす
村をやみす
だんのうらの戦い
源氏
義経は朝廷から位をもらう
朝朝がおいつめる
幕府が!!
1192年
武士中心

つまり
様々な作戦を立て、源氏は平氏を倒し、武士中心の政治をはじめた。
とせん(きしゅう) 人の心ゆるみ

第4時 (幕府の政治)

④ 源頼朝は鎌倉幕府でどのような政治をしたのだろう



神奈川
なせ
攻められにくい
山がある
見おとせる(源平)
枝わかれ(にけり)
平氏は京都
天皇貴族
大から不満を言えない
じゃまされない
政治について
遠いから、はげない
切り通し

源頼朝

調べたこと

領地 おおみつき
頼朝の政治
ご恩 奉公
御家人
将軍
御家人
執権
かみ視
3代目
仕組み → 新しい
ルール
守護、地頭
土地、税の取り割り

北条政子

つまり、武士中心の政治として、きまりやルールを整えて長く続くようにした。
→ 東国~西国まで



幕府の土台を守り支える
御家人
御家人「鎌倉」
幕府のしくみが役立つ
ご恩 奉公
御成敗式目
きまりを守る
支配力を強める

朝廷 vs 幕府 (源氏が絶える)
朝廷を倒す 承久の乱
御家人「鎌倉」
幕府のしくみが役立つ
ご恩 奉公
御成敗式目
きまりを守る
支配力を強める

自分たちの族 武士中心
才能 (聖徳太子)
平氏を弱める
商業をさかんに
きまり

第5時 (元寇)

④ 1回目の元との戦いについて調べよう

1208年
1274年
矢野期間で領土を広げる

日本より広い国がせめて来た!!
◎日本を守り、立ち向かう
◎危機感 → 土地の広さ
◎日本全国に力がある、大丈夫!!
◎準備できる?
☆ヤバイ ← 広いはきき、こわい
☆すごい速度で広がっている
→ 戦法の不安

時宗
御家人

調べたこと

1回目の元との戦い
元から国交をもとめよう
無視
日本に攻める
時宗
のこる
御家人
御家人は九州に集められる
幕府の命令
文永の役
戦い方
日本
元
結果
元をしりぞける
暴風雨
恩賞 → 土地

つまり
幕府の連帯感が勝つことにつながった → 協力
運も良かった。
新しい戦い方に対応するのに苦しい、恐怖

幕府のために

兵の数がちがう
日本
元
苦しい、びびり、恐怖
弓、やり、つば
結果
元をしりぞける
暴風雨
恩賞 → 土地

第7時 (学習問題のまとめ)

④ 武士による政治を関係図にし、学習問題についてまとめよう

これまでの学習
平氏の政治(清盛)
武士だけ貴族がい
源氏と平氏
義経 → 作戦を立てる
幕府が開く
武士の政治はじまり
着目してまとめる!!
仕組みなど

政治にちなんだ関係図

守護、地頭
幕府
ご恩 奉公
源頼朝
土地、領地
御成敗式目
北条時宗
元こう(外国)
御家人

関係図のよさ
少ない言葉で
関係性が
ポイントが
定まる
武士の政治のしくみ
強い御成敗式目
ご恩と奉公
強い御成敗式目
幕府と御家人
強い御成敗式目
幕府と御家人
強い御成敗式目
幕府と御家人
強い御成敗式目
幕府と御家人

学習問題について
平氏や源氏によって武士中心の政治が始まった。中でも源頼朝が政治の仕組み(ご恩と奉公)をつくり、主従関係を整えた。つまり、土地によるつながりを使い、政治を安定させた。
◎武士なのにきまりをつくる
◎ご恩と奉公(強い)
↳ 対外政策は弱い
◎土台がくずれると力が弱まる
◎幕府と御家人が結びついてからこそ(成立)
人は変わっても → 土台が変わらなければ
武士中心の政治ができる

つまり
武士中心